



2019年5月15日

各 位

会 社 名 三井松島ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 天野 常雄
(コード番号 1518 東証第1部、福証)
問合せ先 執行役員 経理部担当 和田 吉高
(TEL. 092-771-2172)

特別損失の計上及び2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、2018年11月9日に公表しました2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想数値と本日公開の実績値の差異につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失(のれん及び投資有価証券の減損損失)の計上について

2018年11月9日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました通り、インドネシアにおけるPT Gerbang Daya Mandiri 坑内掘り炭鉱(以下 GDM 炭鉱)の開発にかかる事業収支計画を見直し、回収可能価額を慎重に検討しました結果、のれん及び投資有価証券の減損損失 1,692 百万円を計上することとなりました。

しかしながら今後も当面の底堅い石炭需要に応えるべく、GDM 炭鉱の開発は継続してまいります。

なお、今後の GDM 炭鉱の開発については、本日発表の「インドネシア GDM 炭鉱の開発に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 76,000	百万円 4,800	百万円 5,400	百万円 1,700	円 銭 130.30
今回実績(B)	75,702	5,201	5,910	2,240	171.98
増減額(B-A)	△297	401	510	540	
増減率(%)	△0.4	8.4	9.4	31.8	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	66,322	1,531	2,100	1,520	116.36

3. 差異が生じた理由

2019年3月期通期の売上高は、ほぼ予想通りとなりました。営業利益及び経常利益につきましては、エネルギー事業の石炭生産分野において生産コストが計画を下回ったことなどにより、当初予想を上回る実績となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1.「特別損失(のれん及び投資有価証券の減損損失)の計上について」に記載の通り、2019年3月期においてのれん及び投資有価証券の減損損失1,692百万円を計上したものの、前回予想時に当該減損損失の計上を織り込んでいたことから、当初予想を上回る実績となりました。

以 上